

**川西市**  
**子育て支援に関する**  
**アンケート調査**  
**結果報告書**  
(追加調査)

平成26年(2014年)5月  
川西市

# 目次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果	2
(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	2
(2) お住まいの地域について	5
(3) あて名のお子さんの保護者の就労状況について	7
(4) 母親の妊娠中、出産後について	12
(5) 仕事と子育ての両立について	14
(6) 日常的な子育ての状況について	16
(7) 川西市の保育・教育環境について	34

# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

市内に居住する児童（0歳から小学校6年生）の保護者を対象として、「アンケート調査」を実施し、「子ども・子育て支援事業計画」を策定する基礎資料とするとともに、より安心して子育てができるまちづくりを推進するためのご意見やご要望を把握するための調査を実施します。

## (2) 調査内容

- ①封筒のあて名のお子さんご家族の状況について
- ②お住まいの地域について
- ③あて名のお子さんの保護者の就労状況について
- ④母親の妊娠中、出産後について
- ⑤仕事と子育ての両立について
- ⑥日常的な子育ての状況について
- ⑦川西市の保育・教育環境について

## (3) 調査仕様

- ①調査地域 市内全域
- ②調査対象 市内に居住する児童（0歳から小学校6年生）の保護者
- ③標本数 1,500件
- ④抽出方法 住民基本台帳登録者のうち、0歳から小学校6年生の子ども1,500名を無作為抽出。
- ⑤調査方法 郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間 平成26年1月15日～1月31日

## (4) 回収数・回収率

786件 有効回答率=52.4%

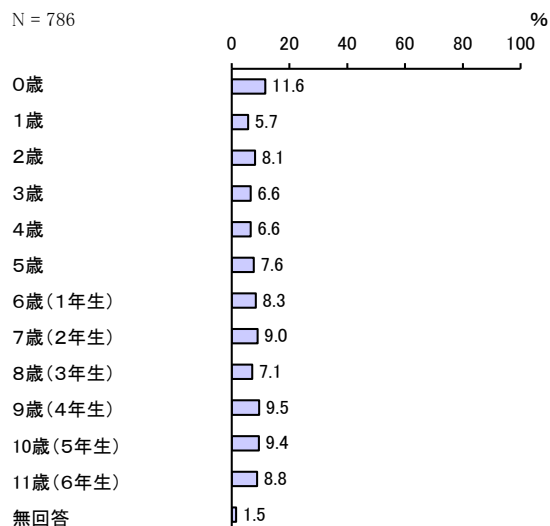
## 2. 調査結果

### (1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問1 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

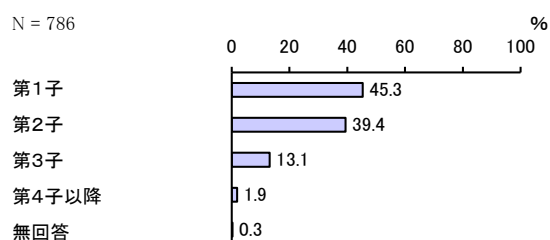
年齢・学年

「0歳」の割合が11.6%と最も高くなっています。



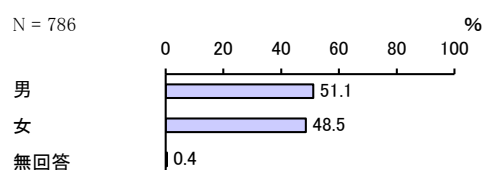
問2 あて名のお子さんは何番目のお子さんですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「第1子」の割合が45.3%と最も高く、次いで「第2子」の割合が39.4%、「第3子」の割合が13.1%となっています。



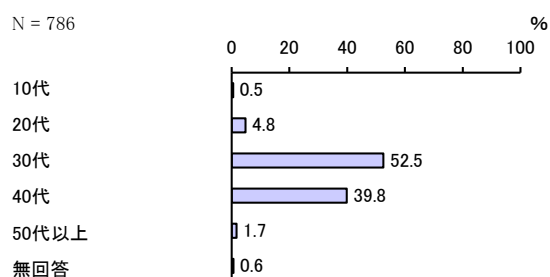
問3 あて名のお子さんの性別について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「男」の割合が51.1%、「女」の割合が48.5%となっています。



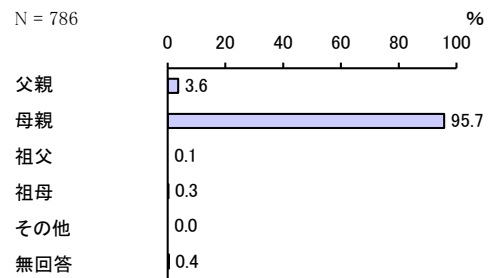
問4 あなた(回答者)の年齢をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「30代」の割合が52.5%と最も高く、次いで「40代」の割合が39.8%となっています。



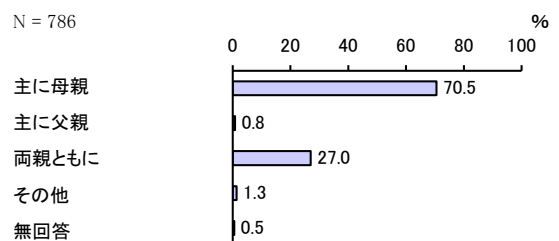
問5 あなた（回答者）とあて名のお子さんとの関係をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が95.7%と最も高くなっています。



問6 子育ては、主にどなたがなさっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

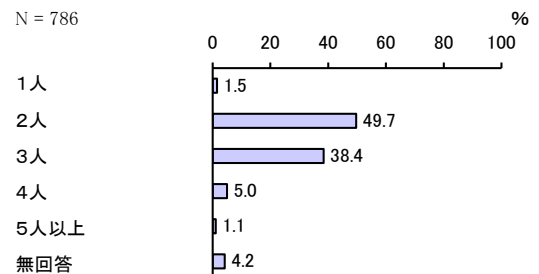
「主に母親」の割合が70.5%と最も高く、次いで「両親ともに」の割合が27.0%となっています。



問7 あなたが理想とする子どもの数と実際にいる（予定している）子どもの数をお答えください。①、②それぞれの（ ）内に数字でご記入ください。

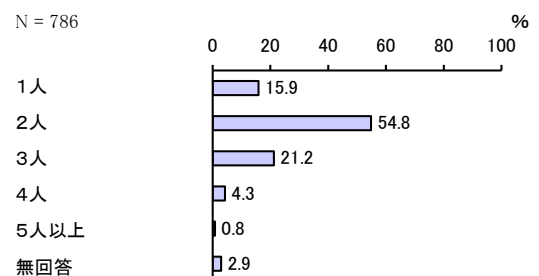
① 理想とする子どもの数

「2人」の割合が49.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が38.4%となっています。



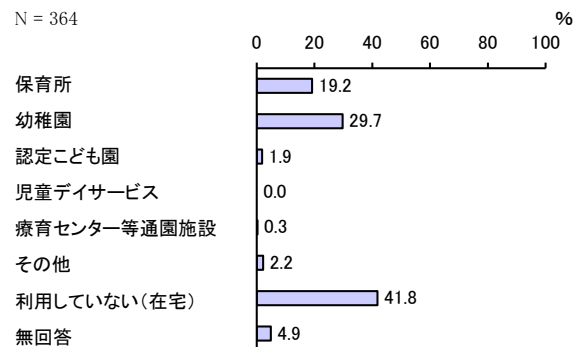
② 実際にいる（予定している）子どもの数

「2人」の割合が54.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が21.2%、「1人」の割合が15.9%となっています。



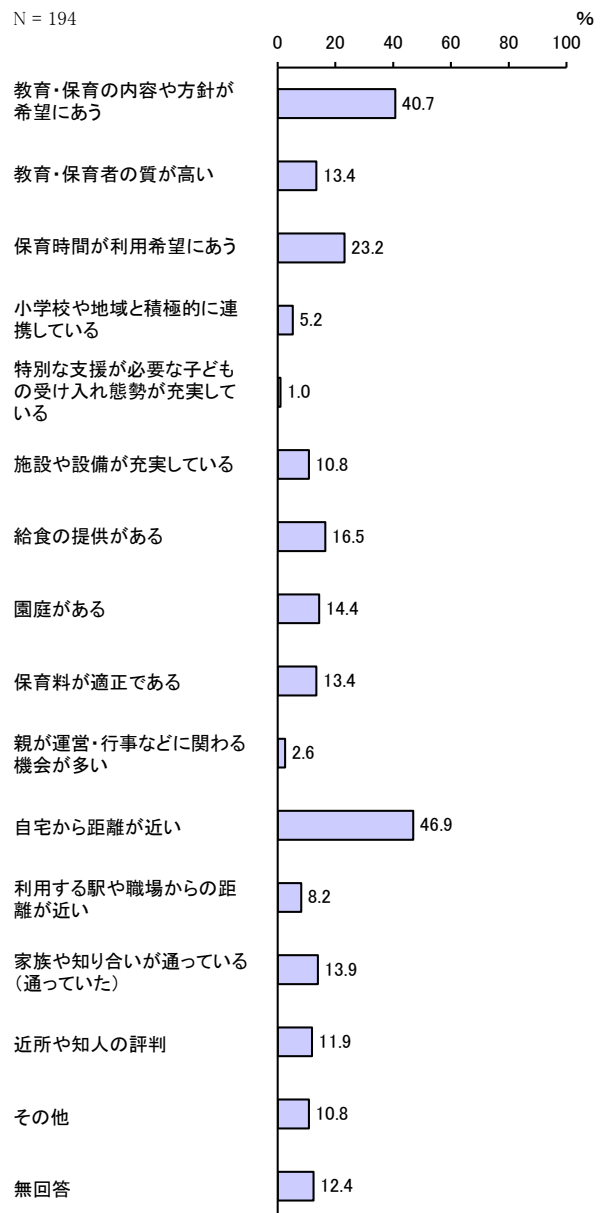
問8 0歳から5歳までのお子さんの保護者の方に向かってあります。あて名のお子さんは保育所・幼稚園などを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用していない(在宅)」の割合が41.8%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が29.7%、「保育所」の割合が19.2%となっています。



問8-1 問8で「1. 保育所～6. その他」を選んだ方に向かってあります。その教育・保育事業を選ぶときに重視したことはどのようなことですか。当てはまる番号主なもの3つに○をつけてください。

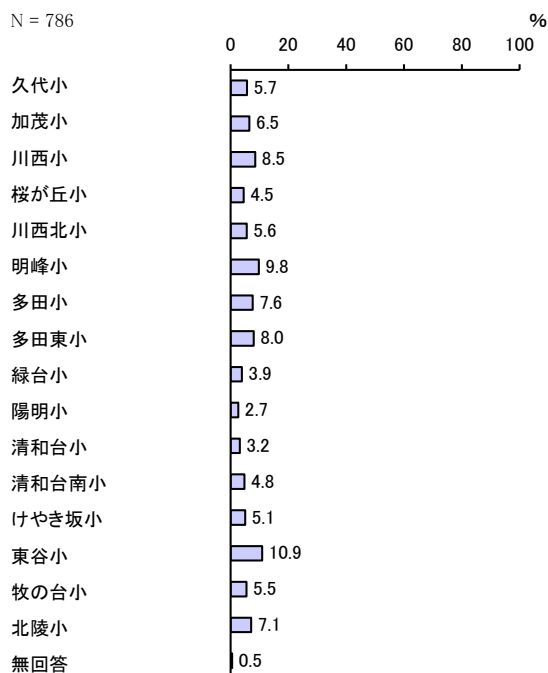
「自宅から距離が近い」の割合が46.9%と最も高く、次いで「教育・保育の内容や方針が希望にあう」の割合が40.7%、「保育時間が利用希望にあう」の割合が23.2%となっています。



## (2) お住まいの地域について

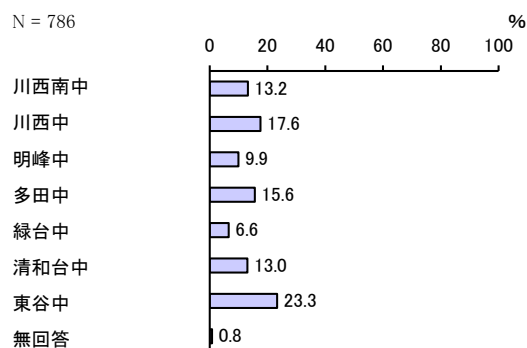
問9 お住まいの地区は、どの小学校区ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「東谷小」の割合が10.9%と最も高くなっています。



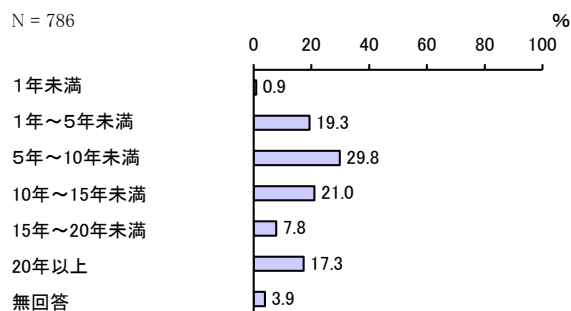
問10 お住まいの地区は、どの中学校区ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「東谷中」の割合が23.3%と最も高く、次いで「川西中」の割合が17.6%、「多田中」の割合が15.6%となっています。



問11 あなたは川西市に住んで何年になりますか。( )内に数字でご記入ください。

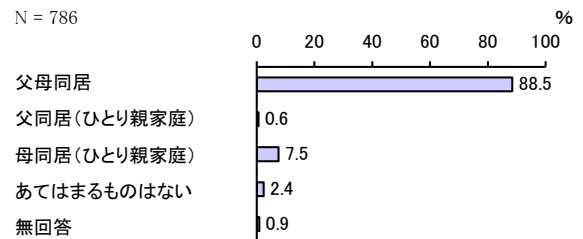
「5年～10年未満」の割合が29.8%と最も高く、次いで「10年～15年未満」の割合が21.0%、「1年～5年未満」の割合が19.3%となっています。



問 12 あて名のお子さんとの同居・近居（おおむね 30 分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

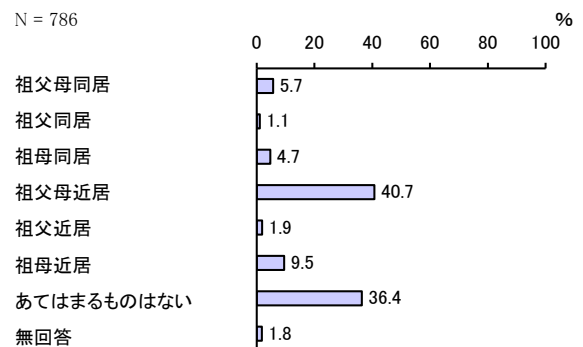
① 父・母について

「父母同居」の割合が 88.5%と最も高くなっています。



② 祖父・祖母について

「祖父母近居」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「あてはまるものはない」の割合が 36.4%となっています。





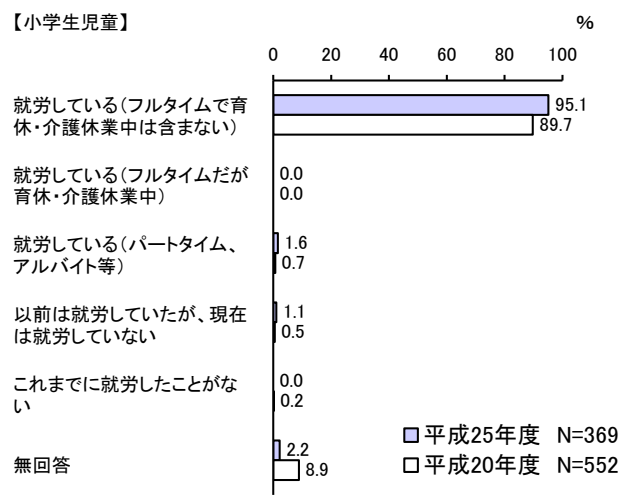
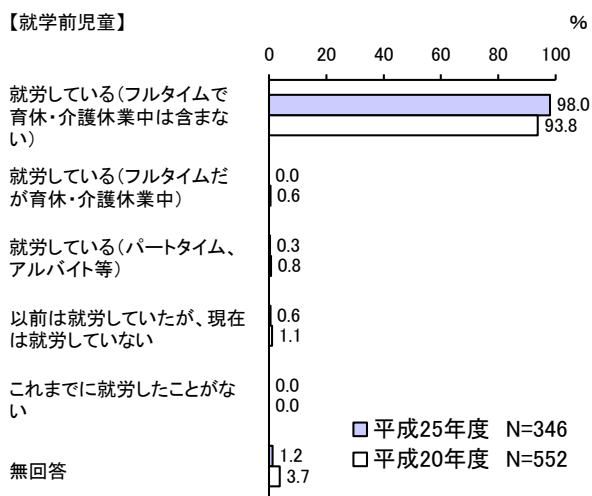
### (3) あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問 13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

#### (1) 父親

就学前児童では、「就労している（フルタイムで育休・介護休業中は含まない）」の割合が 98.0%と最も高くなっています。平成 20 年度と比べ、大きな差異はみられません。

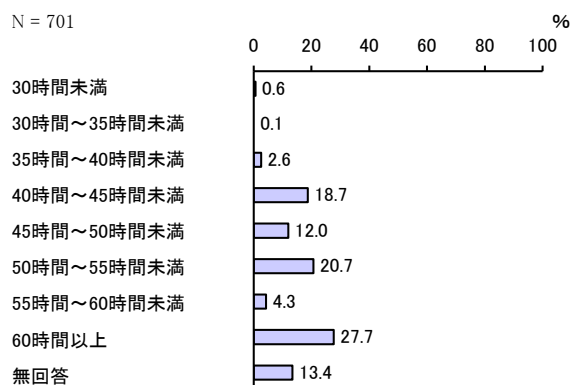
小学生児童では、「就労している（フルタイムで育休・介護休業中は含まない）」の割合が 95.1%と最も高くなっています。平成 20 年度と比べ、「就労している（フルタイムで育休・介護休業中は含まない）」が高くなっています。



#### ① フルタイム

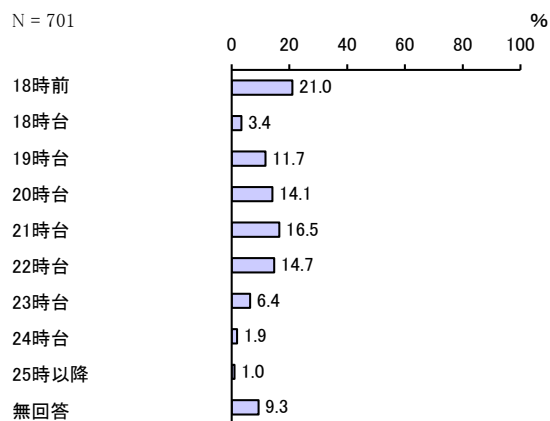
##### ア 1週当たり就労時間

「60 時間以上」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「50 時間～55 時間未満」の割合が 20.7%、「40 時間～45 時間未満」の割合が 18.7%となっています。



## イ 帰宅時間

「18 時前」の割合が 21.0%と最も高く、次いで「21 時台」の割合が 16.5%、「22 時台」の割合が 14.7%となっています。



## ② パートタイム

### ア 1週当たり就労日数

「5日」が3件、「4日」、「6日」が1件となっています。

### イ 1日当たり就労時間

「5時間～6時間未満」、「8時間以上」が2件、「6時間～7時間未満」、「7時間～8時間未満」が1件となっています。

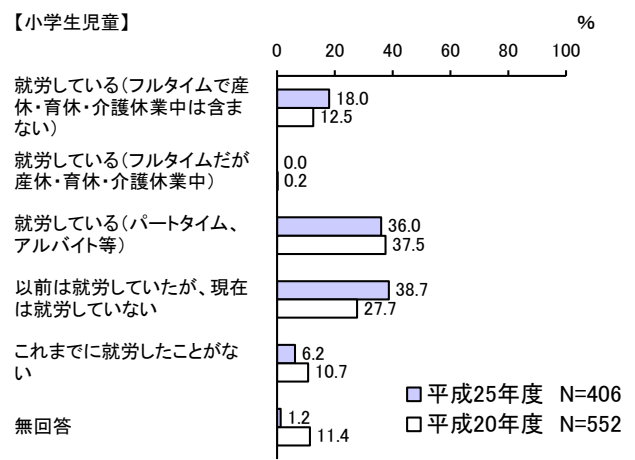
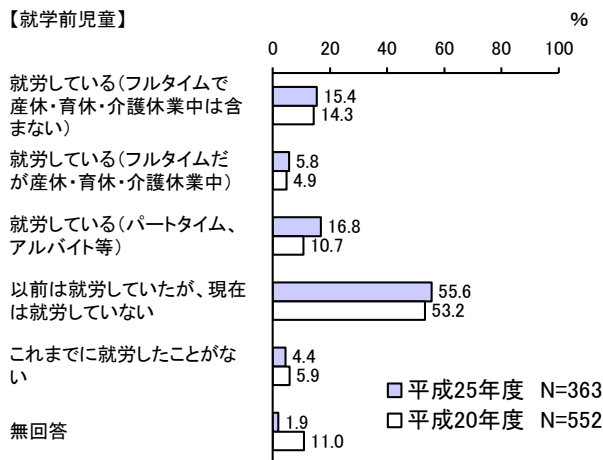
### ウ フルタイムへの転換希望

「希望がある」、「希望はない」が2件、「希望があるが予定はない」が1件となっています。

## (2) 母親

就学前児童では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が55.6%と最も高く、次いで「就労している（パートタイム、アルバイト等）」の割合が16.8%、「就労している（フルタイムで産休・育休・介護休業中は含まない）」の割合が15.4%となっています。平成20年度と比べ、「就労している（パートタイム・アルバイト等）」が高くなっています。

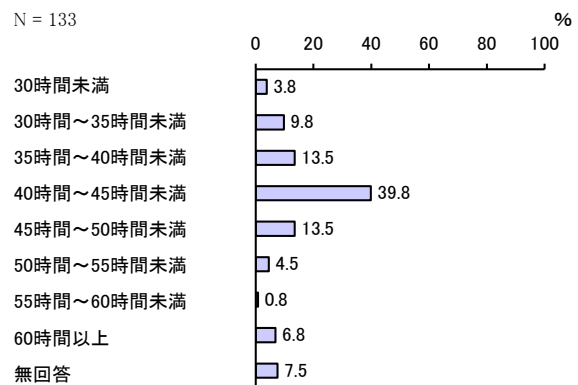
小学生児童では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が38.7%と最も高く、次いで「就労している（パートタイム、アルバイト等）」の割合が36.0%、「就労している（フルタイムで産休・育休・介護休業中は含まない）」の割合が18.0%となっています。平成20年度と比べ、「就労している（フルタイムで産休・育休・介護休業中は含まない）」「以前は就労していたが、現在は就労していない」が高くなっています。



### ① フルタイム

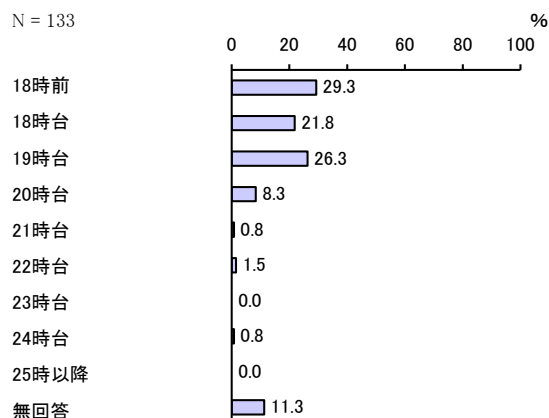
#### ア 1週当たり就労時間

「40時間～45時間未満」の割合が39.8%と最も高く、次いで「35時間～40時間未満」、「45時間～50時間未満」の割合が13.5%となっています。



## イ 帰宅時間

「18時前」の割合が29.3%と最も高く、次いで「19時台」の割合が26.3%、「18時台」の割合が21.8%となっています。



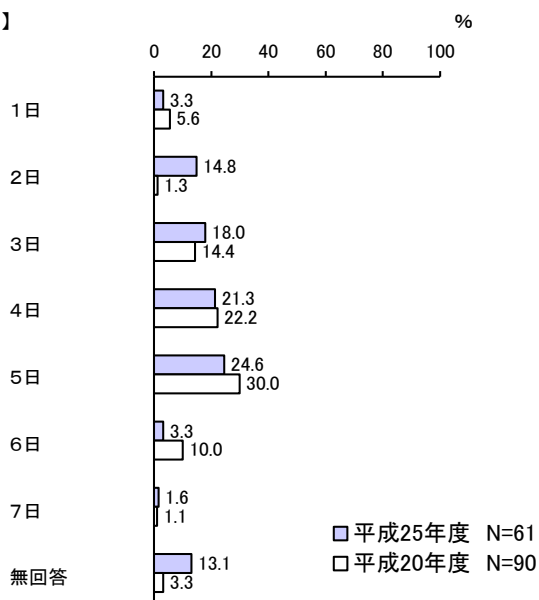
## ② パートタイム

### ア 1週当たり就労日数

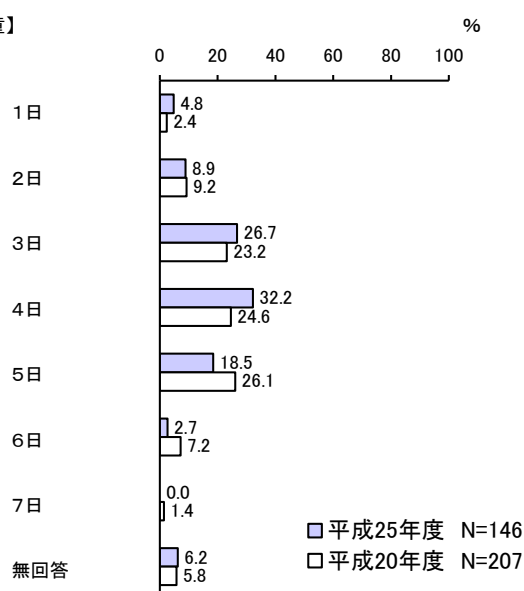
就学前児童では、「5日」の割合が24.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が21.3%、「3日」の割合が18.0%となっています。平成20年度と比べ、「2日」が高く、「5日」「6日」が低くなっています。

小学生児童では、「4日」の割合が32.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が26.7%、「5日」の割合が18.5%となっています。平成20年度と比べ、「4日」が高く、「5日」が低くなっています。

【就学前児童】



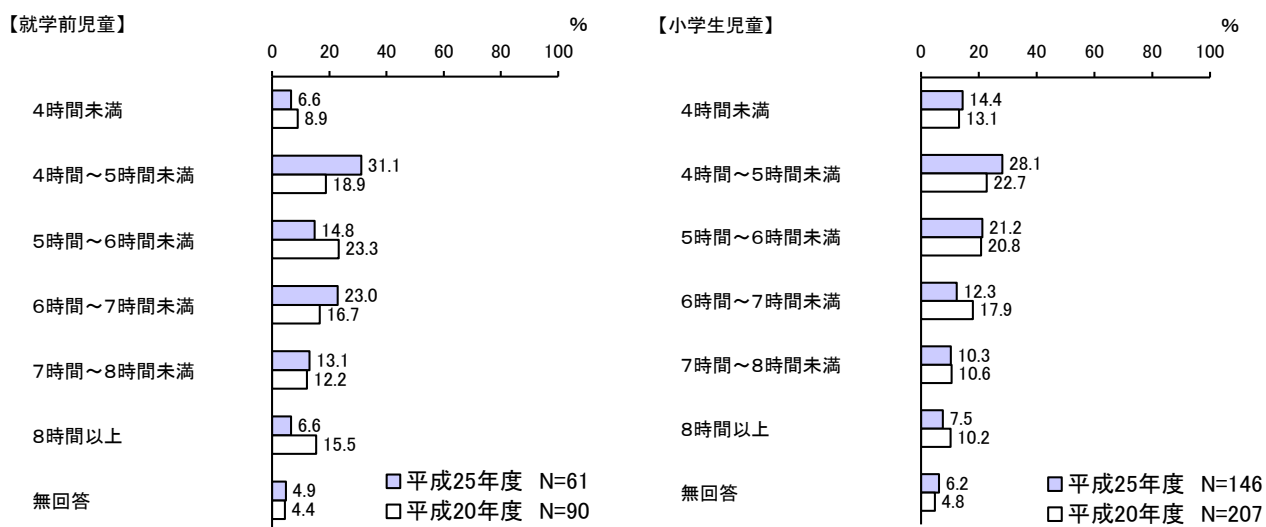
【小学生児童】



## イ 1日当たり就労時間

就学前児童では、「4時間～5時間未満」の割合が31.1%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が23.0%、「5時間～6時間未満」の割合が14.8%となっています。平成20年度と比べ、「4時間～5時間未満」「6時間～7時間未満」が高く、「5時間～6時間未満」「8時間以上」が低くなっています。

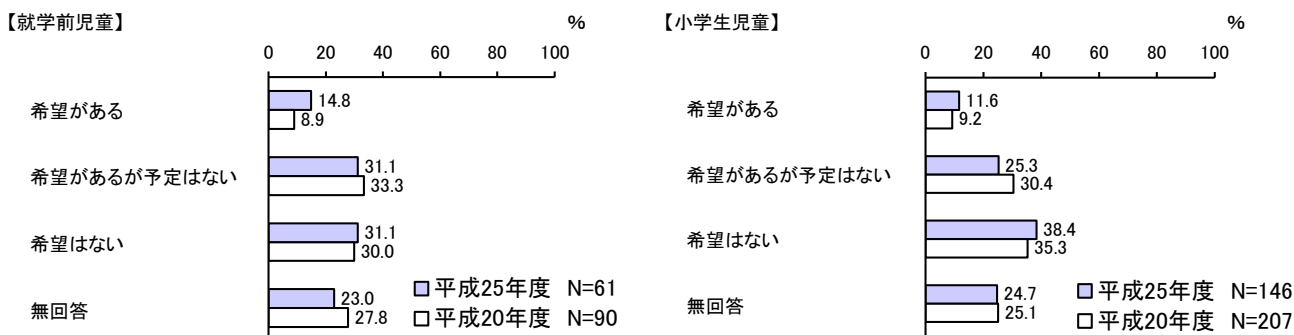
小学生児童では、「4時間～5時間未満」の割合が28.1%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が21.2%、「4時間未満」の割合が14.4%となっています。平成20年度と比べ、「4時間～5時間未満」が高く、「6時間～7時間未満」が低くなっています。



## ウ フルタイムへの転換希望

就学前児童では、「希望はない」「希望があるが予定はない」の割合が31.1%、「希望がある」の割合が14.8%となっています。平成20年度と比べ、「希望がある」が高くなっています。

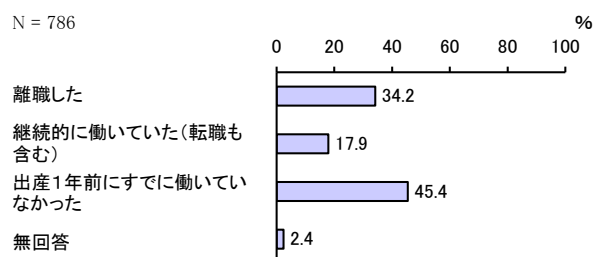
小学生児童では、「希望はない」の割合が38.4%と最も高く、次いで「希望があるが予定はない」の割合が25.3%、「希望がある」の割合が11.6%となっています。平成20年度と比べ、「希望があるが予定はない」が低くなっています。



#### (4) 母親の妊娠中、出産後について

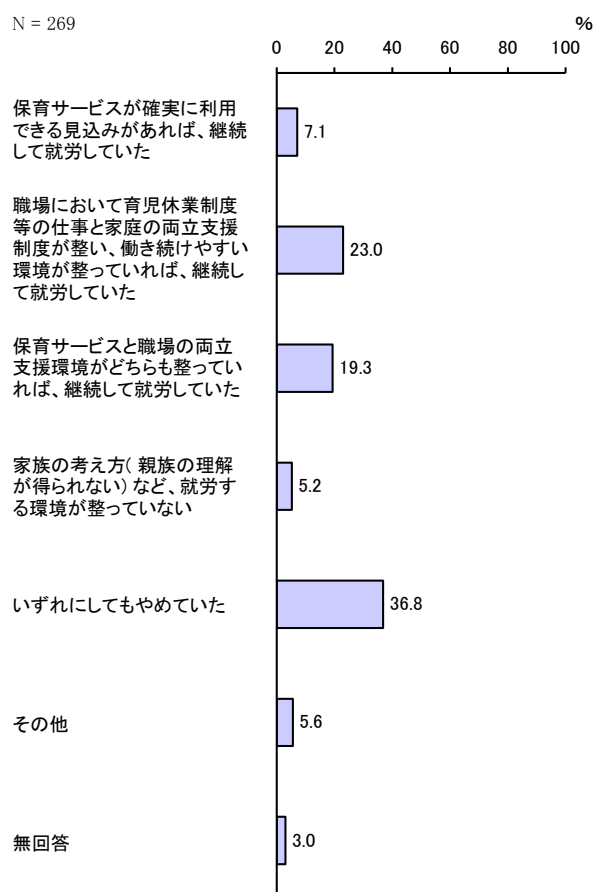
問 14 母親は、あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「出産1年前にすでに働いていなかった」の割合が45.4%と最も高く、次いで「離職した」の割合が34.2%、「継続的に働いていた（転職も含む）」の割合が17.9%となっています。



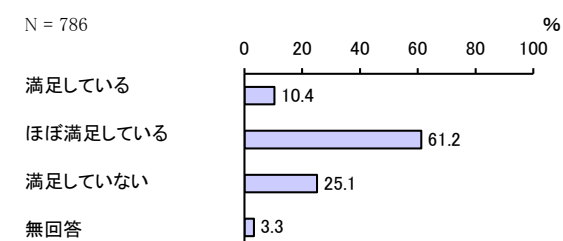
問 14-1 問 14で「1. 離職した」を選ばれた方にうかがいます。仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いずれにしてもやめていた」の割合が36.8%と最も高く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」の割合が23.0%、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」の割合が19.3%となっています。



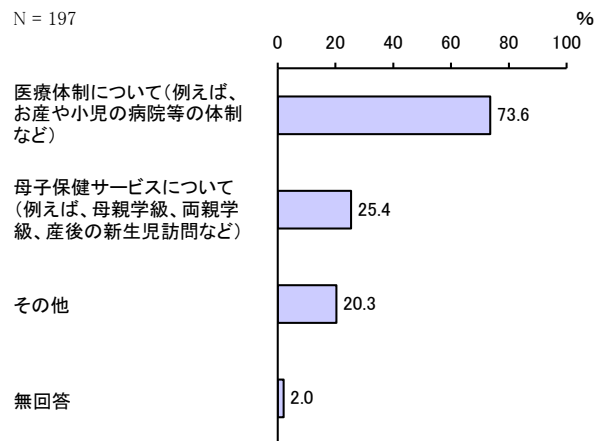
問 15 妊娠から出産、及び産後の母子保健や医療サービスについて、満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ほぼ満足している」の割合が61.2%と最も高く、次いで「満足していない」の割合が25.1%となっています。



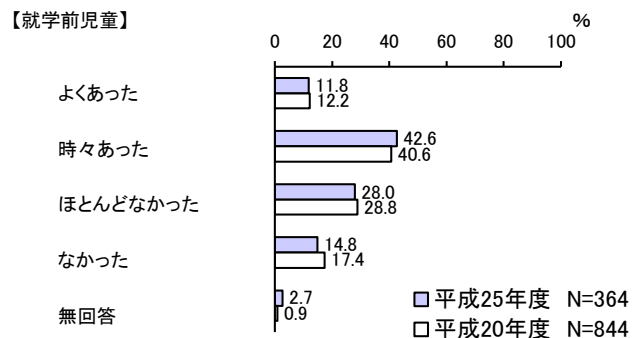
問 15-1 問 15 で「3. 満足していない」を選んだ方にうかがいます。満足していない分野は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「医療体制について（例えば、お産や小児の病院等の体制など）」の割合が 73.6%、「母子保健サービスについて（例えば、母親学級、両親学級、産後の新生児訪問など）」の割合が 25.4%となっています。



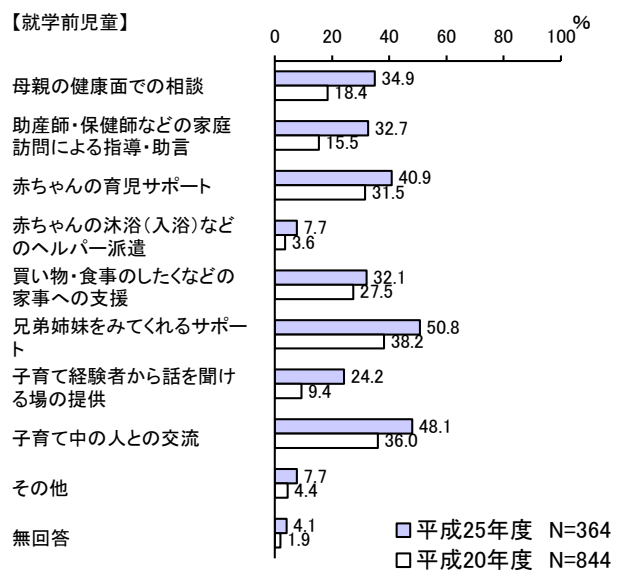
問 16 お子さんを妊娠中あるいは出産後に、母親が精神的に不安定になったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

就学前児童では、「時々あった」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「ほとんどなかった」の割合が 28.0%、「なかった」の割合が 14.8%となっています。平成 20 年度と比べ、大きな差異はみられません。



問 17 妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのようなサービスが必要だと思いますか。(どのようなサービスが必要だと思いましたか。) 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童では、「兄弟姉妹をみてるサポート」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「子育て中の人との交流」の割合が 48.1%、「赤ちゃんの育児サポート」の割合が 40.9%となっています。平成 20 年度と比べ、全ての項目で高くなっており、特に「母親の健康面での相談」「助産師・保健師などの家庭訪問による指導・助言」「兄弟姉妹をみてるサポート」「子育て経験者から話を聞ける場の提供」「子育て中の人との交流」が高くなっています。



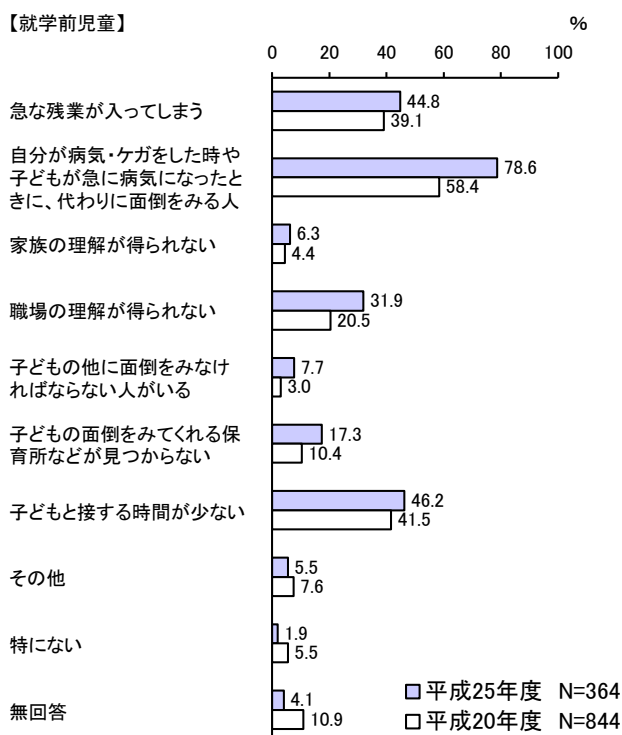
## (5) 仕事と子育ての両立について

問 18 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何だと思いますか。(大変だと感じたことは何だと思いましたか。) 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

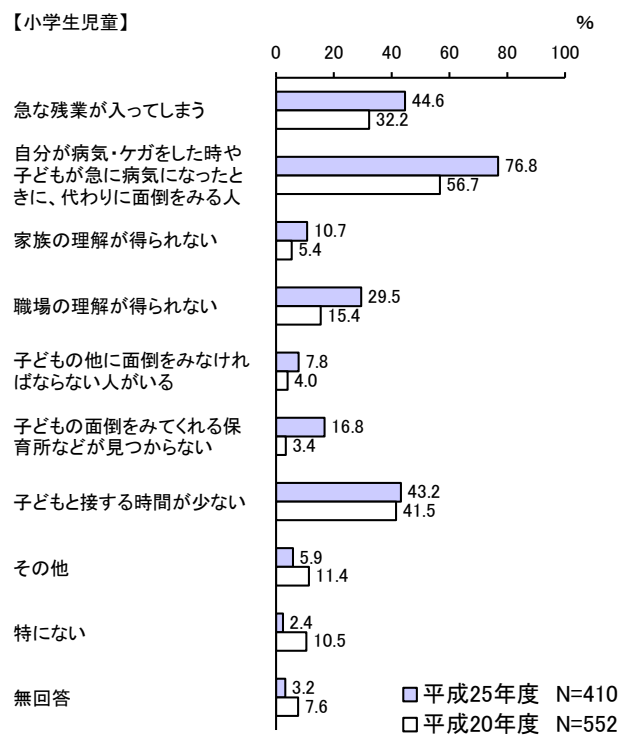
就学前児童では、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない」の割合が78.6%と最も高く、次いで「急な残業が入ってしまう」の割合が44.8%、「子どもと接する時間が少ない」の割合が46.2%となっています。平成20年度と比べ、全ての項目で高くなっており、特に「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない」「職場の理解が得られない」が高くなっています。

小学生児童では、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない」の割合が76.8%と最も高く、次いで「急な残業が入ってしまう」の割合が44.6%、「子どもと接する時間が少ない」の割合が43.2%となっています。平成20年度と比べ、全ての項目で高くなっており、特に「急な残業が入ってしまう」「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない」「職場の理解が得られない」「子どもの面倒をみてくれる保育所などが見つからない」が高くなっています。

【就学前児童】



【小学生児童】



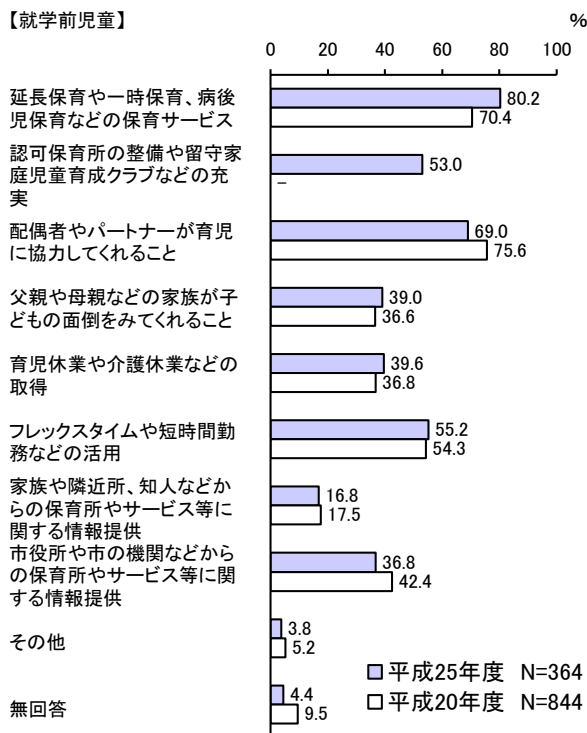


問 19 仕事と子育てを両立する上で必要なことは何だと思えますか。(必要なことは何だと思いましたか。) 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

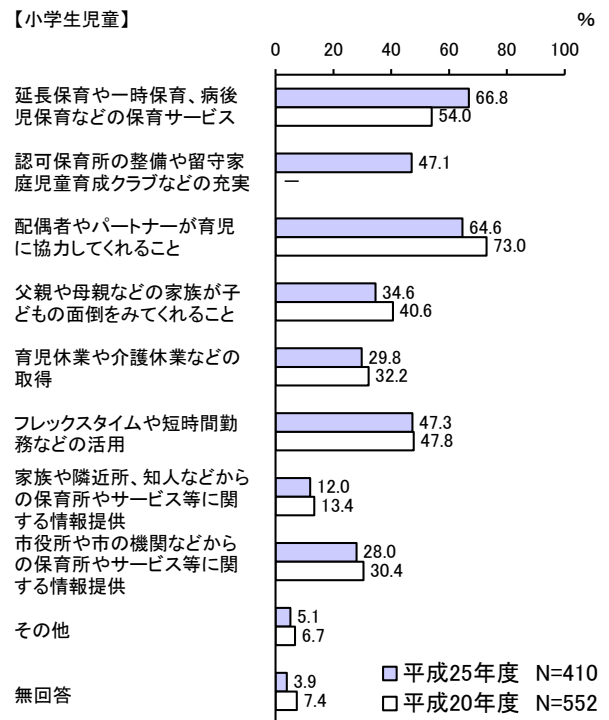
就学前児童では、「延長保育や一時保育、病後児保育などの保育サービス」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」の割合が 69.0%、「フレックスタイムや短時間勤務などの活用」の割合が 55.2%となっています。平成 20 年度と比べ、「延長保育や一時保育、病後児保育などの保育サービス」が高く、「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」「市役所や市の機関などからの保育所やサービス等に関する情報提供」が低くなっています。

小学生児童では、「延長保育や一時保育、病後児保育などの保育サービス」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」の割合が 64.6%、「フレックスタイムや短時間勤務などの活用」の割合が 47.3%となっています。平成 20 年度と比べ、「延長保育や一時保育、病後児保育などの保育サービス」が高く、「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」「父親や母親などの家族が子どもの面倒をみてくれること」が低くなっています。

【就学前児童】



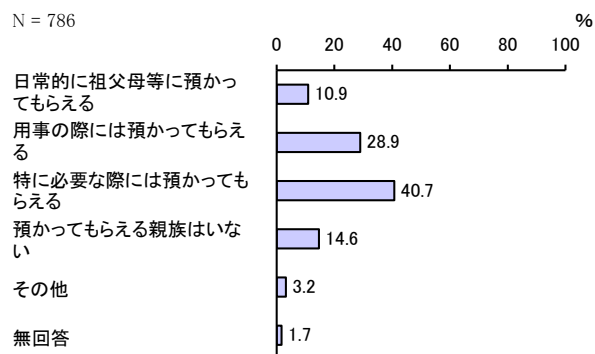
【小学生児童】



## (6) 日常的な子育ての状況について

問 20 子育てについて、同居している・していないにかかわらず親類からの支援を受けていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

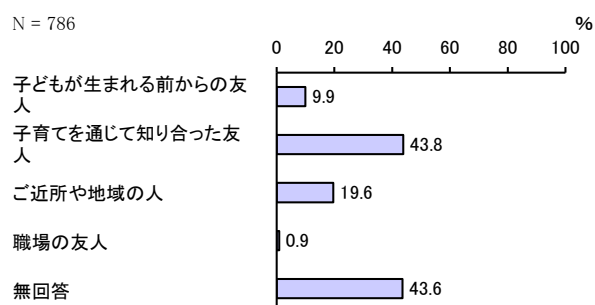
「特に必要な際には預かってもらえる」の割合が40.7%と最も高く、次いで「用事の際には預かってもらえる」の割合が28.9%、「預かってもらえる親族はいない」の割合が14.6%となっています。



問 21 家族親類以外で、1～7の項目でお付き合いができる方はいますか。1～7の項目それぞれについて、友人等の分類(①～⑤)から、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

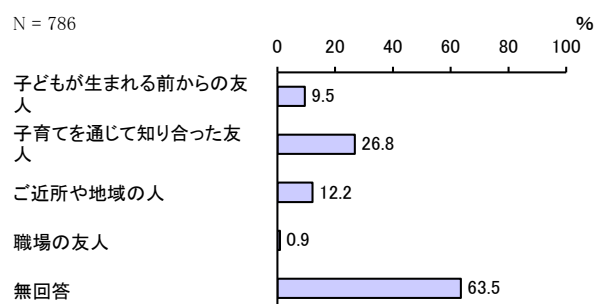
### ① 子どもを預け合える

「子育てを通じて知り合った友人」の割合が43.8%と最も高く、次いで「ご近所や地域の人」の割合が19.6%となっています。



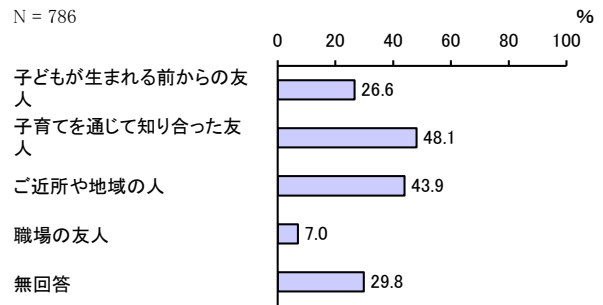
### ② 家事・育児のサポートができる

「子育てを通じて知り合った友人」の割合が26.8%と最も高く、次いで「ご近所や地域の人」の割合が12.2%となっています。



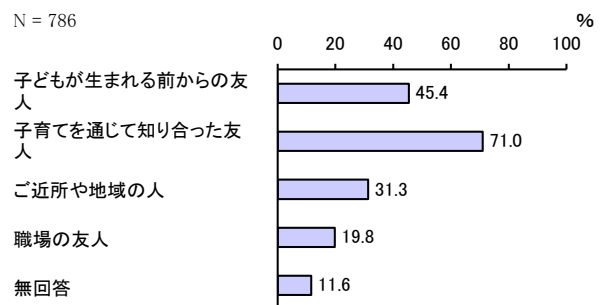
### ③ 子どもの成長を見守ってくれる

「子育てを通じて知り合った友人」の割合が48.1%と最も高く、次いで「ご近所や地域の人」の割合が43.9%、「子どもが生まれる前からの友人」の割合が26.6%となっています。



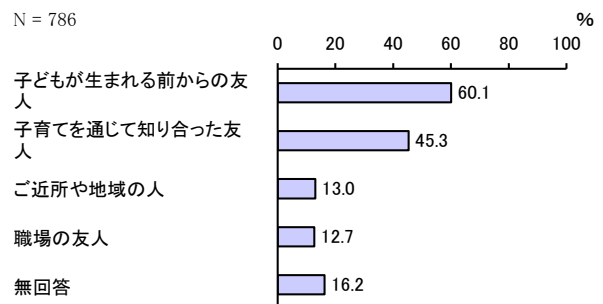
### ④ 子育ての相談ができる

「子育てを通じて知り合った友人」の割合が71.0%と最も高く、次いで「子どもが生まれる前からの友人」の割合が45.4%、「ご近所や地域の人」の割合が31.3%となっています。



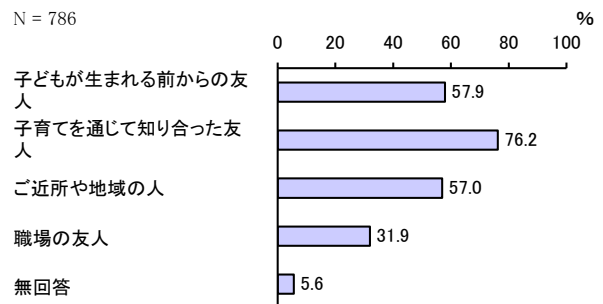
### ⑤ 本音で話し合える

「子どもが生まれる前からの友人」の割合が60.1%と最も高く、次いで「子育てを通じて知り合った友人」の割合が45.3%、「ご近所や地域の人」の割合が13.0%となっています。



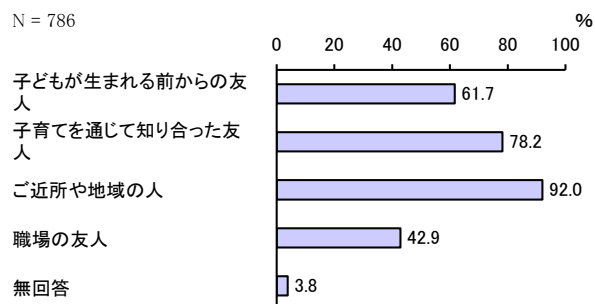
### ⑥ 気軽なおしゃべりができる

「子育てを通じて知り合った友人」の割合が76.2%と最も高く、次いで「子どもが生まれる前からの友人」の割合が57.9%、「ご近所や地域の人」の割合が57.0%となっています。



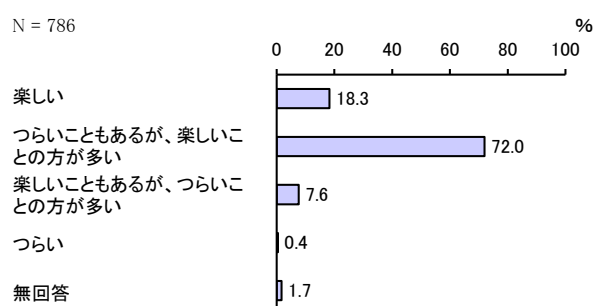
### ⑦ あいさつをする

「ご近所や地域の人」の割合が 92.0%と最も高く、次いで「子育てを通じて知り合った友人」の割合が 78.2%、「子どもが生まれる前からの友人」の割合が 61.7%となっています。



### 問 22 あなたは、子育てを楽しんでいると感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「楽しい」の割合が 18.3%となっています。

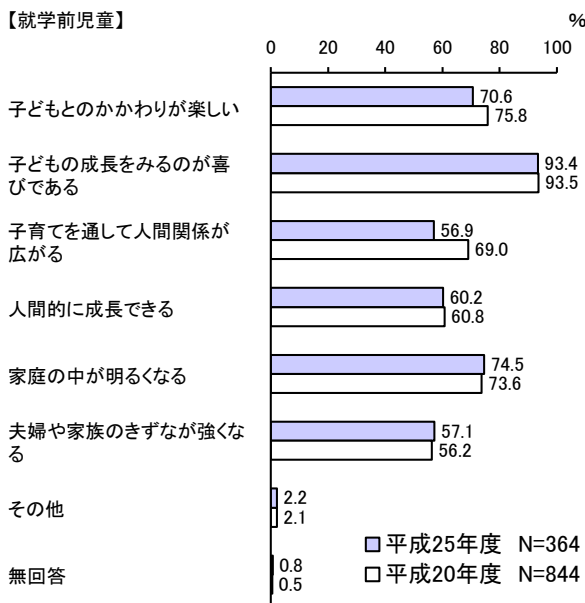


**問 23 子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

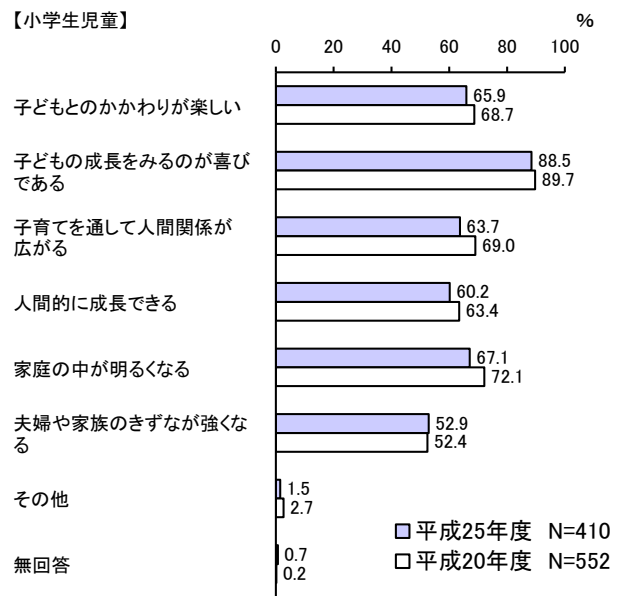
就学前児童では、「子どもの成長をみるのが喜びである」の割合が 93.4%と最も高く、次いで「家庭の中が明るくなる」の割合が 74.5%、「子どもとのかかわりが楽しい」の割合が 70.6%となっています。平成 20 年度と比べ、「子どもとのかかわりが楽しい」「子育てを通じて人間関係が広がる」が低くなっています。

小学生児童では、「子どもの成長をみるのが喜びである」の割合が 88.5%と最も高く、次いで、「家庭の中が明るくなる」の割合が 67.1%、「子どもとのかかわりが楽しい」の割合が 65.9%となっています。平成 20 年度と比べ、「子育てを通して人間関係が広がる」「家庭の中が明るくなる」が低くなっています。

【就学前児童】



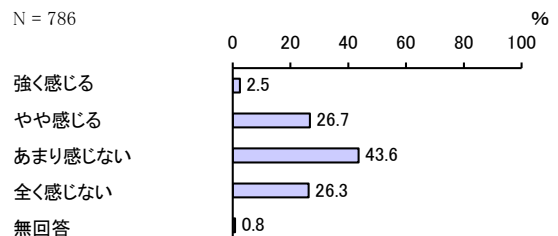
【小学生児童】



**問 24 あなたは日常生活において孤立感を感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。**

「あまり感じない」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「やや感じる」の割合が 26.7%、「全く感じない」の割合が 26.3%となっています。

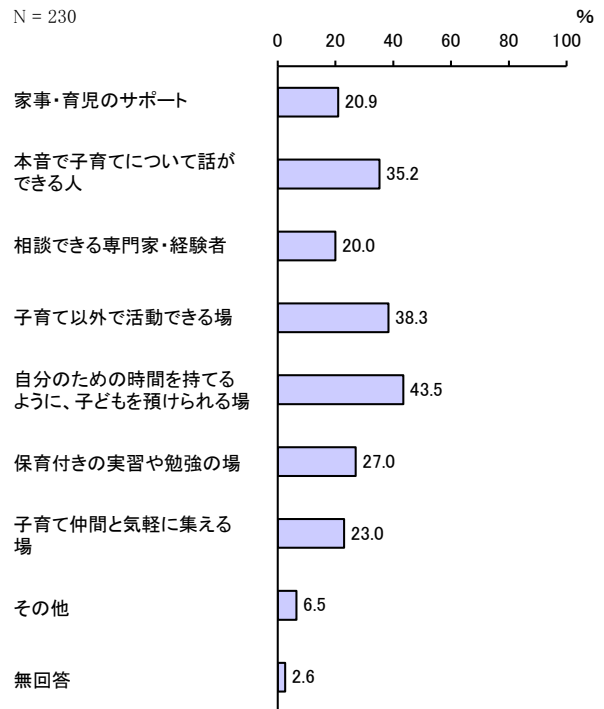
N = 786



問 24-1 問 24 で「1. 強く感じる」「2. やや感じる」を選んだ方にうかがいます。孤立感を和らげるためにどんなことが地域で必要ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

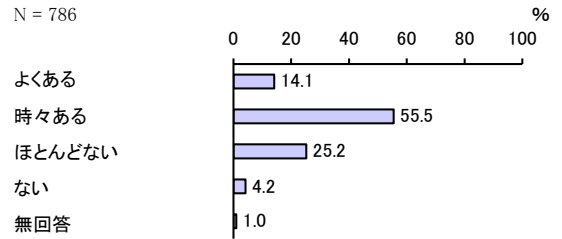
「自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「子育て以外で活動できる場」の割合が 38.3%、「本音で子育てについて話ができる人」の割合が 35.2%となっています。

N = 230



問 25 あなたはお子さんをたたいたり、どなったり、無視してしまうような気持ちになったことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

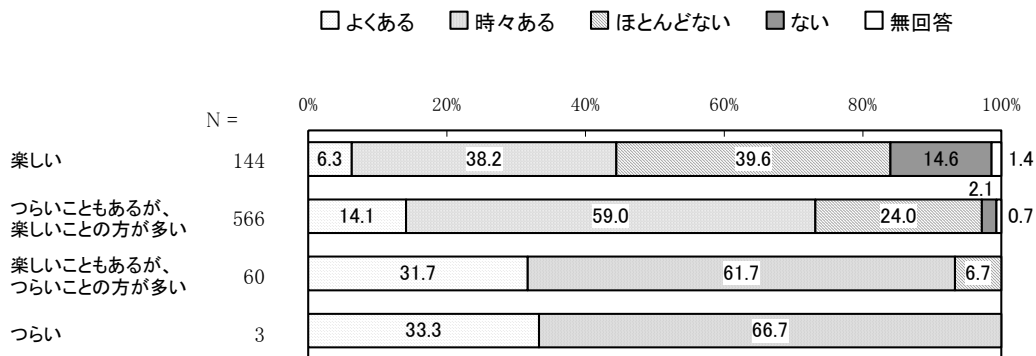
「時々ある」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 25.2%、「よくある」の割合が 14.1%となっています。



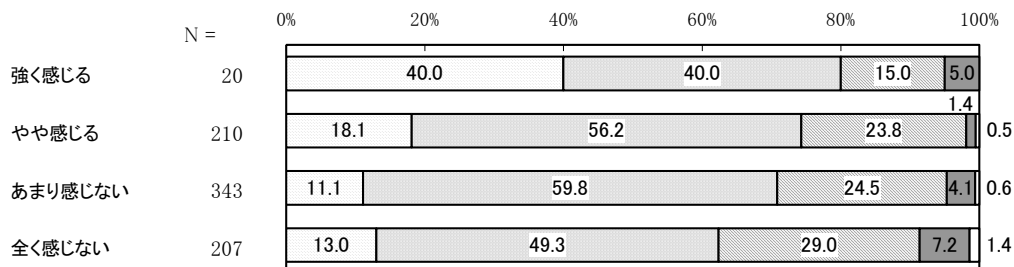
子育ての感じ方（問 22 あなたは、子育てを楽しんでいると感じていますか。）の回答別でみると、つらいと感じる人ほど「よくある」「時々ある」をあわせた“子どもをたたいたり、どなったり、無視してしまうような気持ちになったことがある”の割合が高くなっています。

孤立感の度合い（問 24 あなたは日常生活において孤立感を感じていますか。）の回答別でみると、孤立感を強く感じる人ほど“子どもをたたいたり、どなったり、無視してしまうような気持ちになったことがある”の割合が高く、特に強く感じるで8割となっています。

### 【子育ての感じ方別】



### 【孤立感の度合い別】

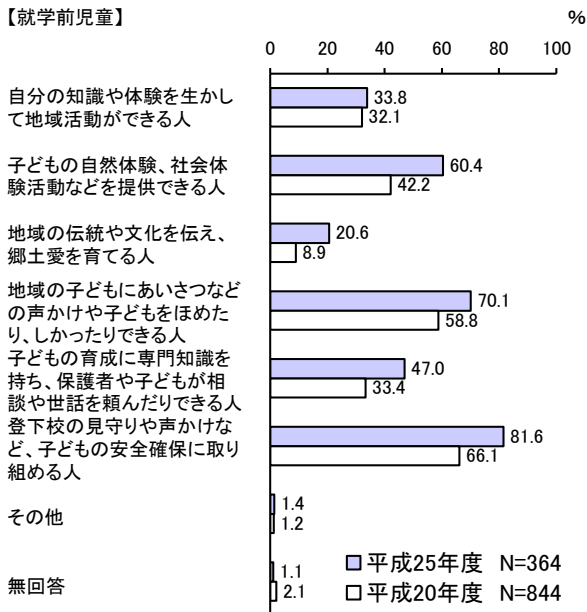


問 26 子どもの育成を支援するため、「地域」では特にどのような人が必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

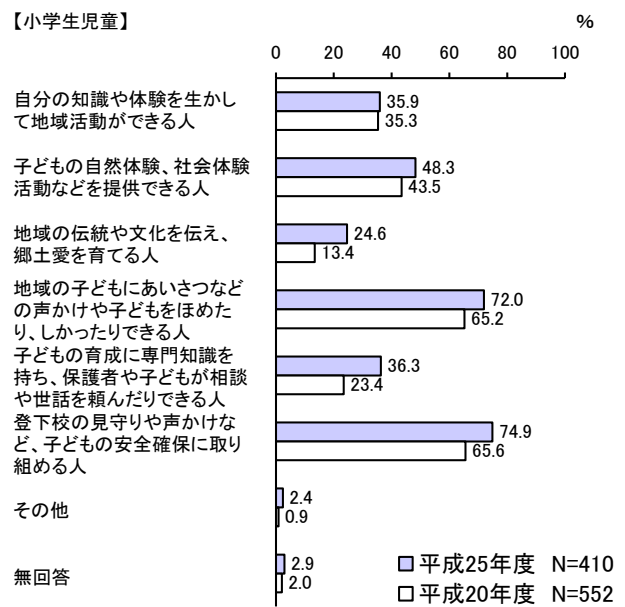
就学前児童では、「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める人」の割合が81.6%と最も高く、次いで「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」の割合が70.1%、「子どもの自然体験、社会体験活動などを提供できる人」の割合が60.4%となっています。平成20年度と比べ、全ての項目で高くなっており、特に「子どもの自然体験、社会体験活動などを提供できる人」「地域の伝統や文化を伝え、郷土愛を育てる人」「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」「子どもの育成に専門知識を持ち、保護者や子どもが相談や世話を頼んだりできる人」「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める人」が高くなっています。

小学生児童では、「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める人」の割合が74.9%と最も高く、次いで「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」の割合が72.0%、「子どもの自然体験、社会体験活動などを提供できる人」の割合が48.3%となっています。平成20年度と比べ、全ての項目で高くなっており、特に「地域の伝統や文化を伝え、郷土愛を育てる人」「子どもの育成に専門知識を持ち、保護者や子どもが相談や世話を頼んだりできる人」が高くなっています。

【就学前児童】



【小学生児童】





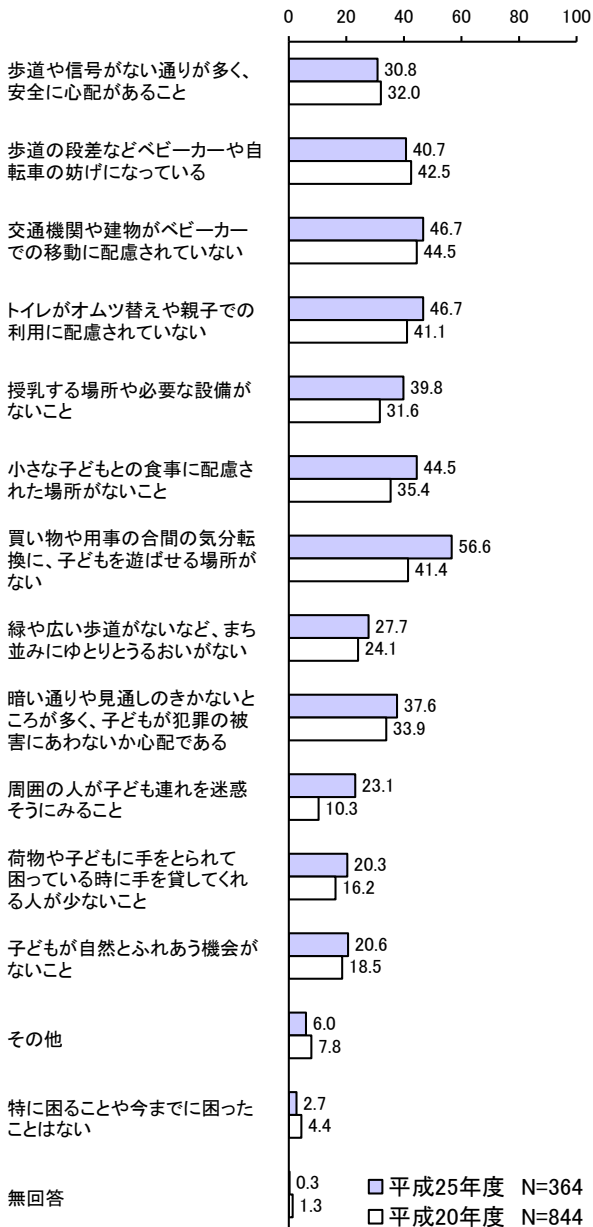
問 27 お子さんとの外出の際、困ることや今までに困ったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童では、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」の割合が 46.7%、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が 37.6%となっています。平成 20 年度と比べ、特に「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」「周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること」が高くなっています。

小学生児童では、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が 45.9%で最も高く、次いで「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」の割合が 37.1%となっています。平成 20 年度と比べ、特に「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」が高くなっています。

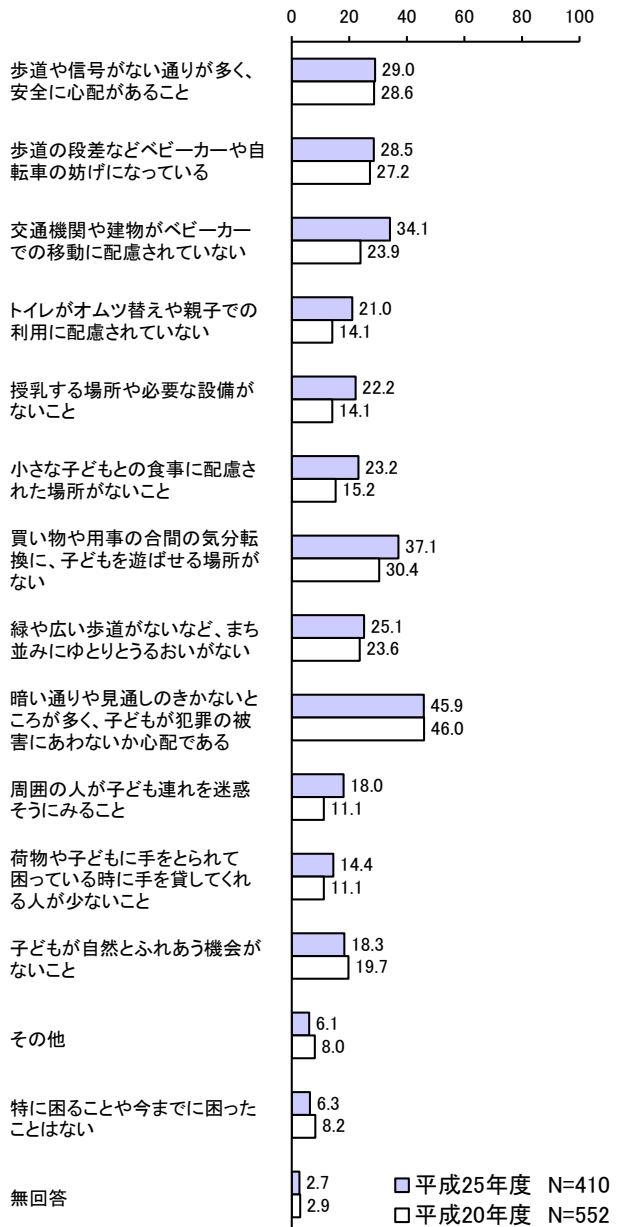
【就学前児童】

%



【小学生児童】

%

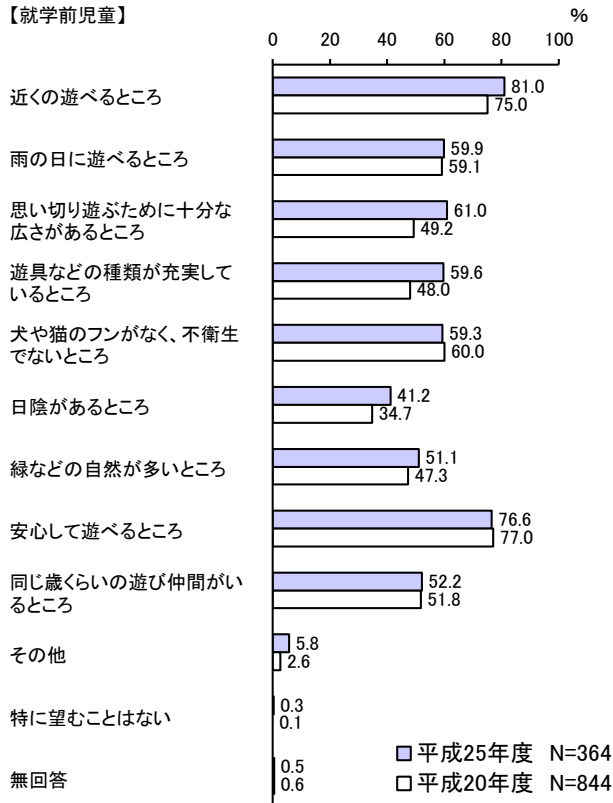


問 28 あなたが、子どもの遊び場について望ましいと思うことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

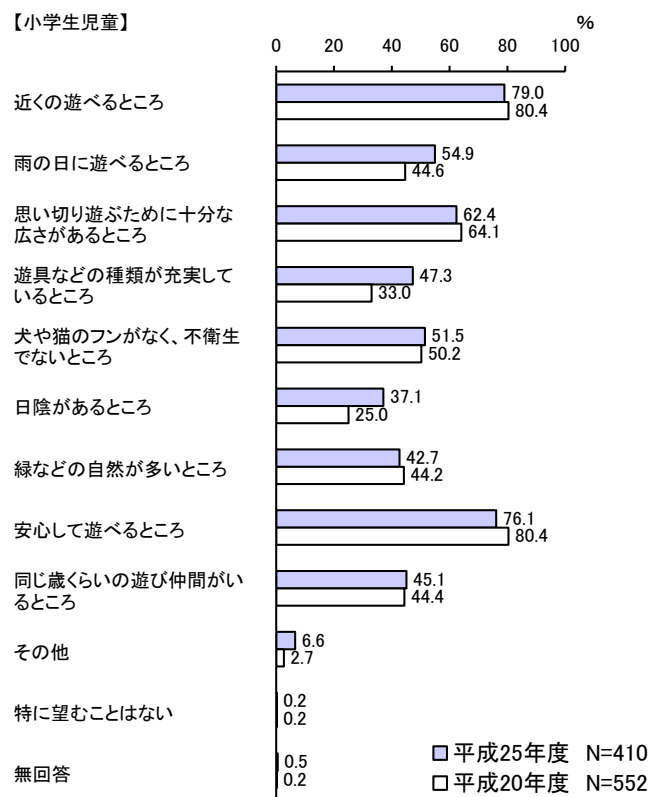
就学前児童では、「近くの遊べるところ」の割合が 81.0%と最も高く、次いで「安心して遊べる場所」の割合が 76.6%、「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」の割合が 61.0%となっています。平成 20 年度と比べ、特に「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」「遊具などの種類が充実しているところ」が高くなっています。

小学生児童では、「近くの遊べる場所」の割合が 79.0%と最も高く、次いで「安心して遊べる場所」の割合が 76.1%、「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」の割合が 62.4%となっています。平成 20 年度と比べ、特に「雨の日に遊べる場所」「遊具などの種類が充実しているところ」「日陰があるところ」が高くなっています。

【就学前児童】



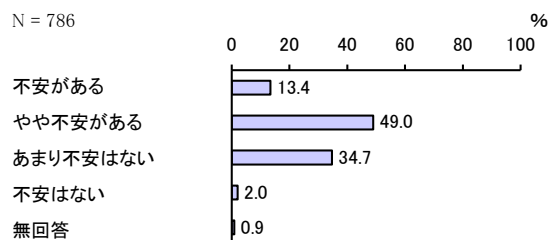
【小学生児童】



問 29 日ごろ、防犯や防災など地域の安全について、どのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「やや不安がある」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「あまり不安はない」の割合が 34.7%、「不安がある」の割合が 13.4%となっています。

N = 786

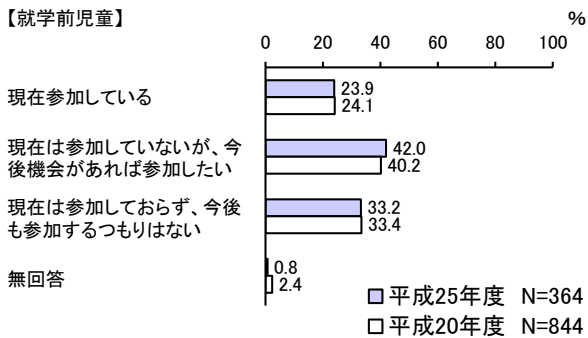


問 30 あなたは子育てに関するサークルなど、自主的な活動に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

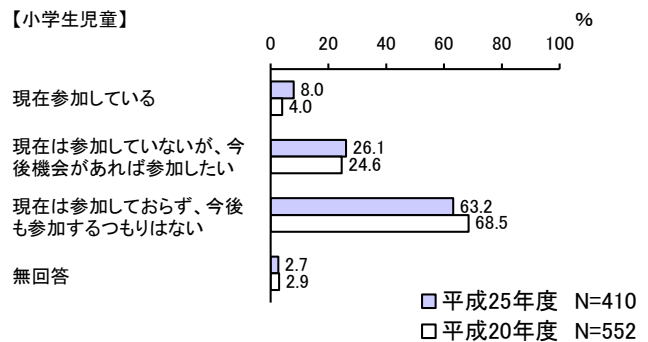
就学前児童では、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が 42.0%と最も高く、次いで、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が 33.2%、「現在参加している」の割合が 23.9%となっています。平成 20 年度と比べ、大きな差異はみられません。

小学生児童では、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が 26.1%となっています。平成 20 年度と比べ、大きな差異はみられません。

【就学前児童】



【小学生児童】

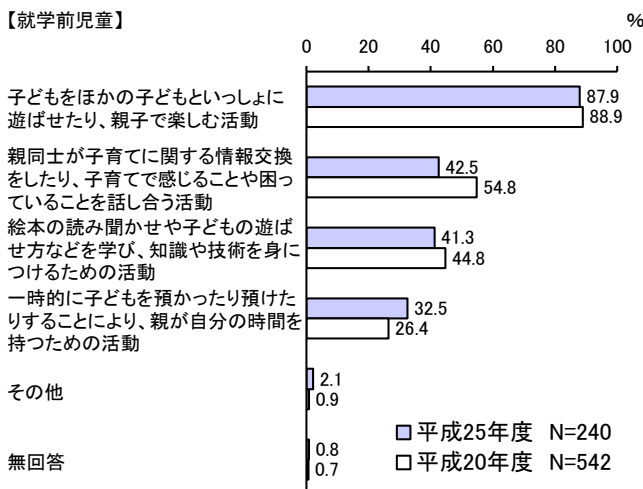


問 30-1 問 30 で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。今後実施したい自主活動、参加したい活動はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

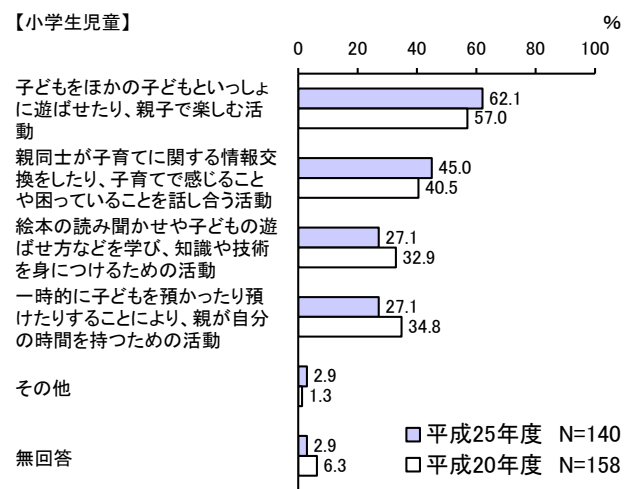
就学前児童では、「子どもをほかの子どもといっしょに遊ばせたり、親子で楽しむ活動」の割合が 87.9%と最も高く、次いで「親同士が子育てに関する情報交換をしたり、子育てで感じることや困っていることを話し合う活動」の割合が 42.5%、「絵本の読み聞かせや子どもの遊ばせ方などを学び、知識や技術を身につけるための活動」の割合が 41.3%となっています。平成 20 年度と比べ、「一時的に子どもを預かったり預けたりすることにより、親が自分の時間を持つための活動」が高く、「親同士が子育てに関する情報交換をしたり、子育てで感じることや困っていることを話し合う活動」が低くなっています。

小学生児童では、「子どもをほかの子どもといっしょに遊ばせたり、親子で楽しむ活動」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「親同士が子育てに関する情報交換をしたり、子育てで感じることや困っていることを話し合う活動」の割合が 45.0%、「絵本の読み聞かせや子どもの遊ばせ方などを学び、知識や技術を身につけるための活動」「一時的に子どもを預かったり預けたりすることにより、親が自分の時間を持つための活動」の割合が 27.1%となっています。平成 20 年度と比べ、「絵本の読み聞かせや子どもの遊ばせ方などを学び、知識や技術を身につけるための活動」「一時的に子どもを預かったり預けたりすることにより、親が自分の時間を持つための活動」が低くなっています。

【就学前児童】

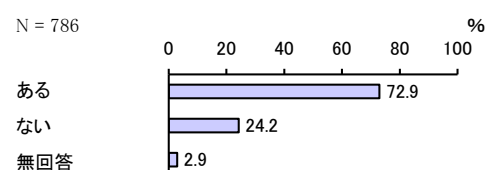


【小学生児童】



問 31 あなたは、子育てについて心配なこと、不安なことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ある」の割合が 72.9%、「ない」の割合が 24.2%となっています。

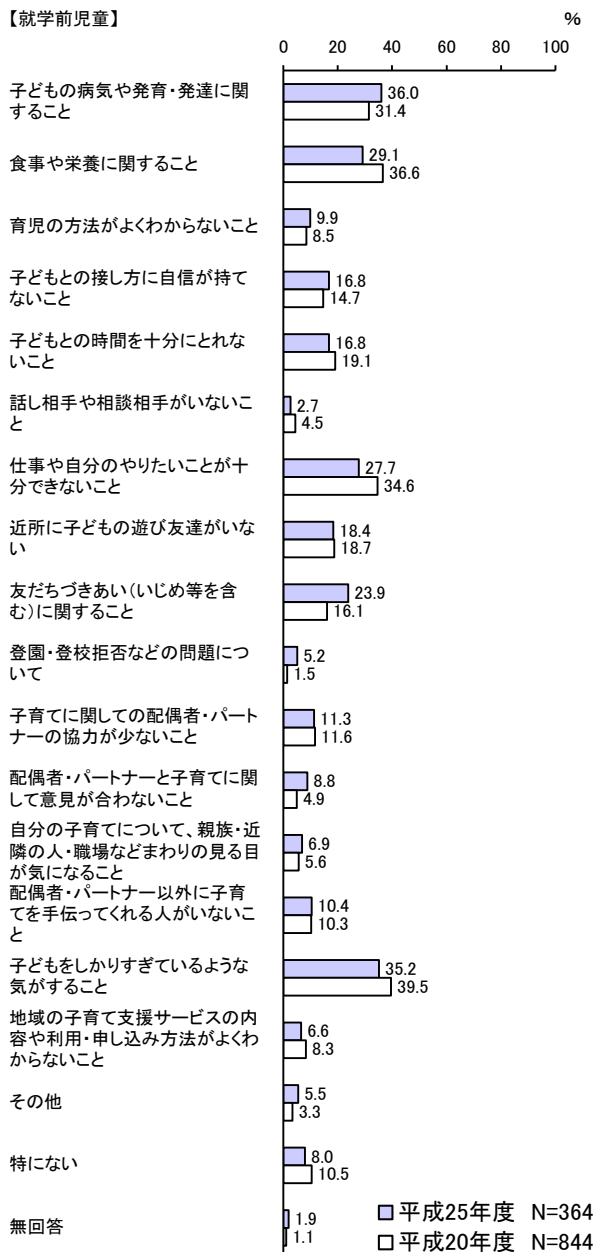


問 32 子育てに関して、日ごろ悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。当  
てはまる番号すべてに○をつけてください。

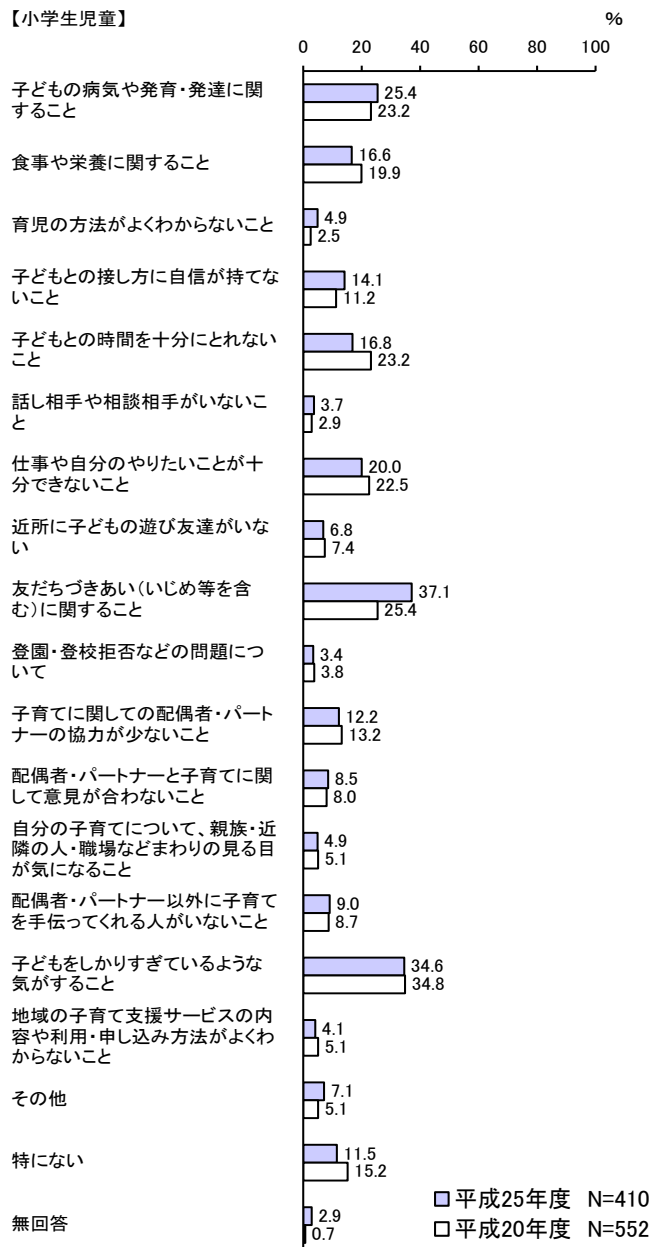
就学前児童では、「子どもの病気や発育・発達に関すること」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「子どもをしかりすぎているような気がする」との割合が 35.2%、「食事や栄養に関すること」の割合が 29.1%となっています。平成 20 年度と比べ、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が高く、「食事や栄養に関すること」「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が低くなっています。

小学生児童では、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「子どもをしかりすぎているような気がする」との割合が 34.6%、「子どもの病気や発育・発達に関すること」の割合が 25.4%となっています。平成 20 年度と比べ、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が高く、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が低くなっています。

【就学前児童】



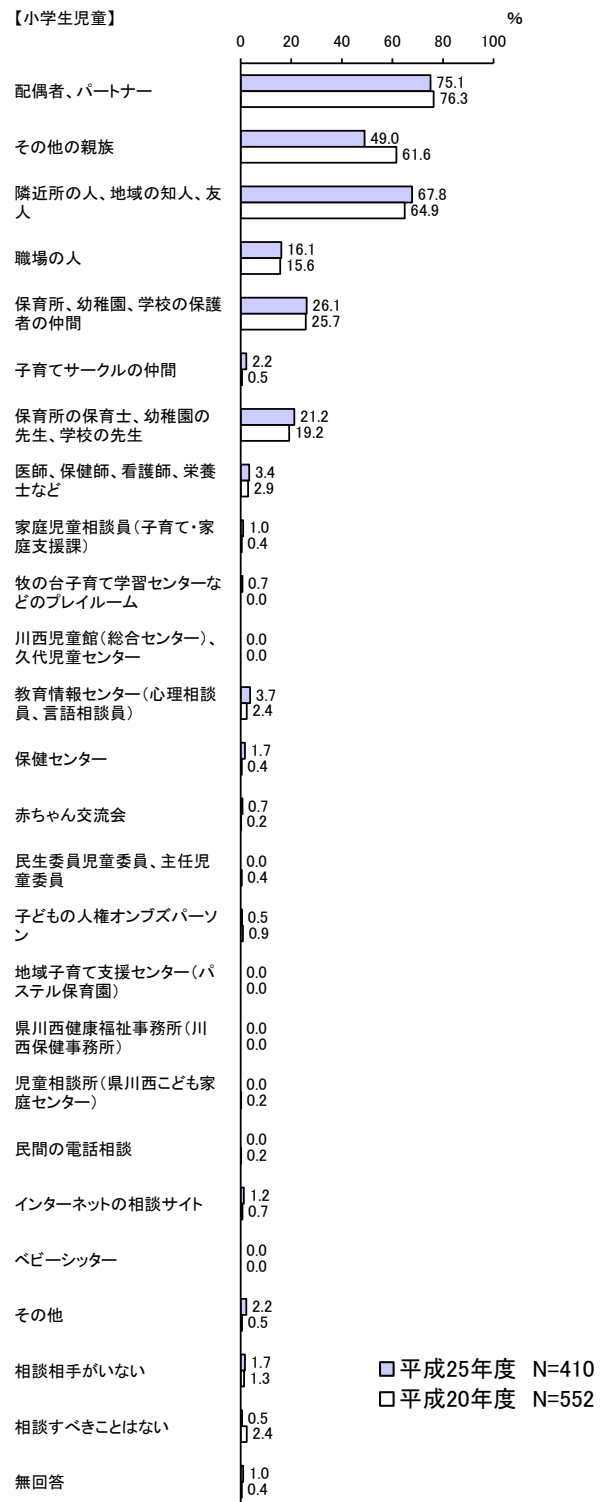
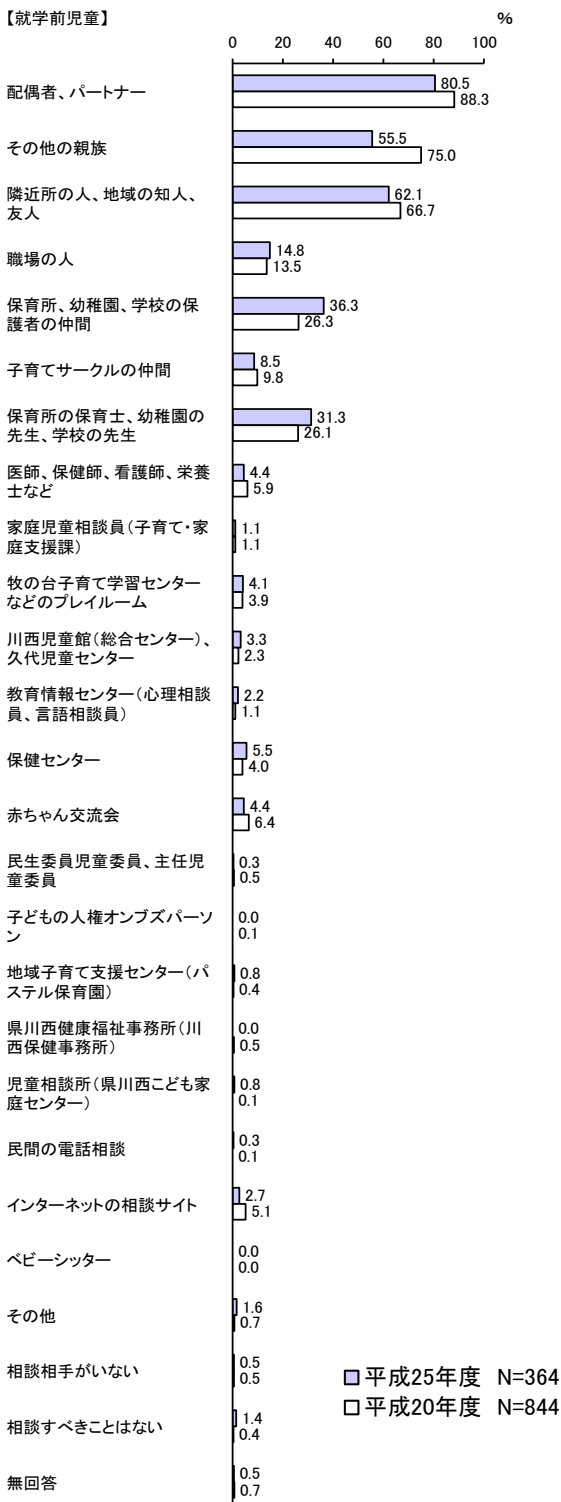
【小学生児童】



問 33 子育てに関する悩みや不安などを、どなた（どこ）に相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

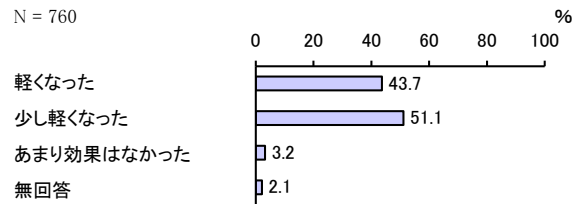
就学前児童では、「配偶者、パートナー」の割合が 80.5%と最も高く、次いで「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が 62.1%、「その他の親族」の割合が 55.5%となっています。平成 20 年度と比べ、「保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間」が高く、「その他の親族」が低くなっています。

小学生児童では、「配偶者、パートナー」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が 67.8%、「その他の親族」の割合が 49.0%となっています。平成 20 年度と比べ、「その他の親族」が低くなっています。



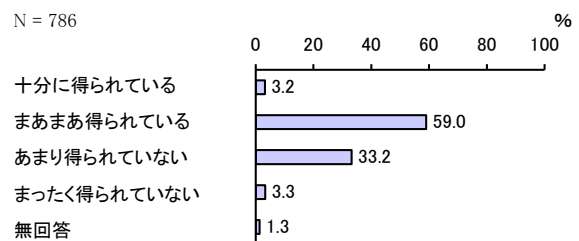
問 33-1 問 33 で「1」から「22」を選んだ方にうかがいます。相談して不安や悩みは軽くなりましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「少し軽くなった」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「軽くなった」の割合が 43.7%となっています。



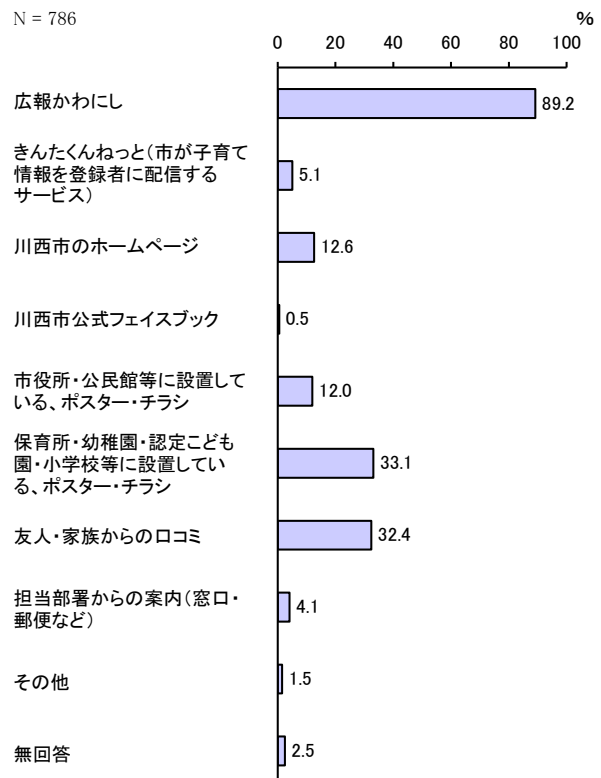
問 34 地域の子育てに関する情報は十分に得られていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「まあまあ得られている」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「あまり得られていない」の割合が 33.2%となっています。



問 35 あなたは、市が実施している子育て支援事業について、どのような方法で情報を得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「広報かわにし」の割合が 89.2%と最も高く、次いで「保育所・幼稚園・認定こども園・小学校等に設置している、ポスター・チラシ」の割合が 33.1%、「友人・家族からの口コミ」の割合が 32.4%となっています。



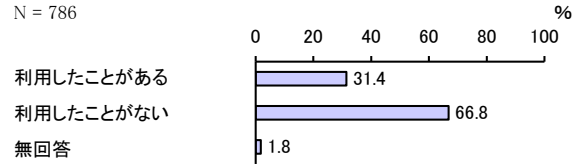
問 36 川西市で取り組んでいる以下の「地域子育て支援事業」を利用したことがありますか。また、利用したことがない理由と今後の利用意向をお答えください。(①～③のそれぞれに、回答してください。)

(1) 川西児童館（総合センター）・久代児童センター

① 現状

「利用したことがない」の割合が 66.8%、「利用したことがある」の割合が 31.4%となっています。

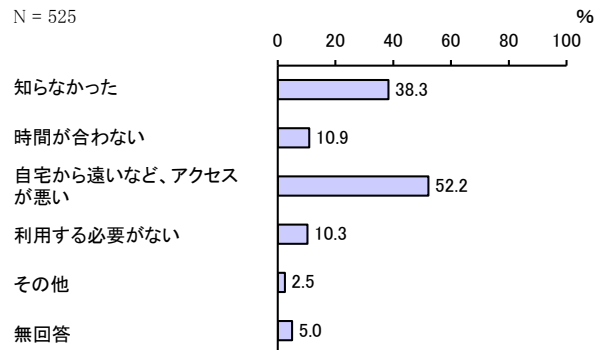
N = 786



② 利用したことがない理由

「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 38.3%、「時間が合わない」の割合が 10.9%となっています。

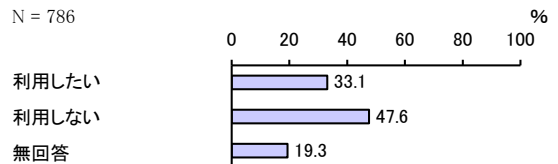
N = 525



③ 今後 (1つに〇)

「利用しない」の割合が 47.6%、「利用したい」の割合が 33.1%となっています。

N = 786

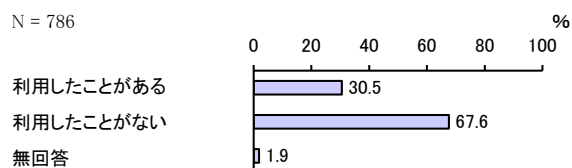




## (2) 牧の台子育て学習センター・総合センター・パレットかわにし

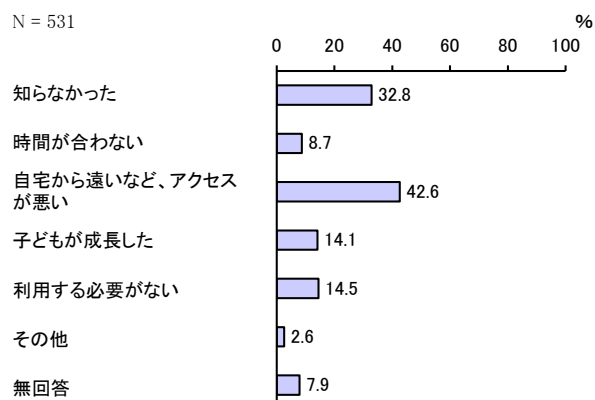
### ① 現状

「利用したことがない」の割合が 67.6%、「利用したことがある」の割合が 30.5%となっています。



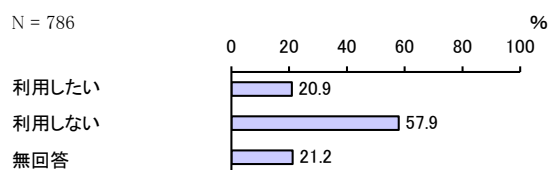
### ② 利用したことがない理由

「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 32.8%、「利用する必要がある」の割合が 14.5%となっています。



### ③ 今後 (1つに〇)

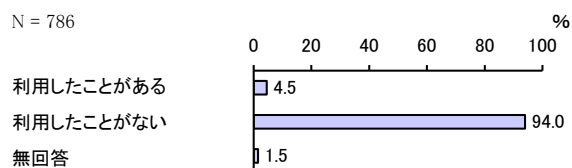
「利用しない」の割合が 57.9%、「利用したい」の割合が 20.9%となっています。



### (3) 家庭児童相談室（市子育て・家庭支援課）

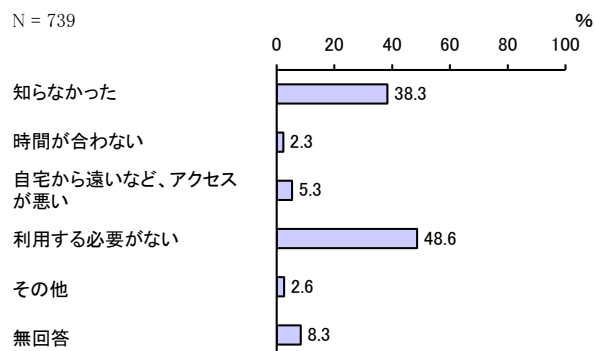
#### ① 現状

「利用したことがない」の割合が 94.0%、「利用したことがある」の割合が 4.5%となっています。



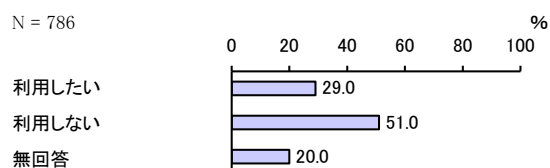
#### ② 利用したことがない理由

「利用する必要がない」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 38.3%となっています。



#### ③ 今後（1つに〇）

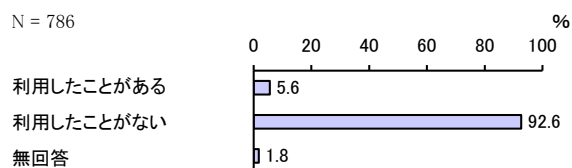
「利用しない」の割合が 51.0%、「利用したい」の割合が 29.0%となっています。



#### (4) かわにしファミリーサポートセンター

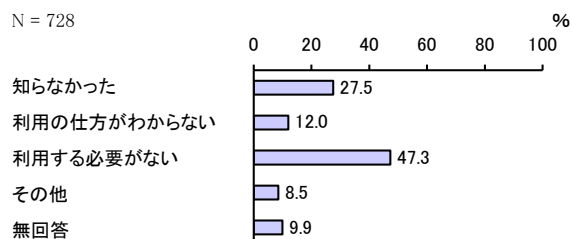
##### ① 現状

「利用したことがない」の割合が 92.6%、「利用したことがある」の割合が 5.6%となっています。



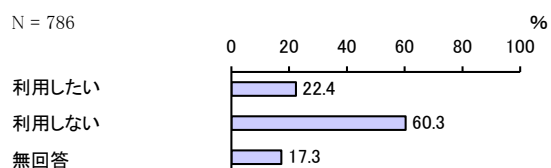
##### ② 利用したことがない理由

「利用する必要がない」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 27.5%、「利用の仕方がわからない」の割合が 12.0%となっています。



##### ③ 今後 (1つに〇)

「利用しない」の割合が 60.3%、「利用したい」の割合が 22.4%となっています。

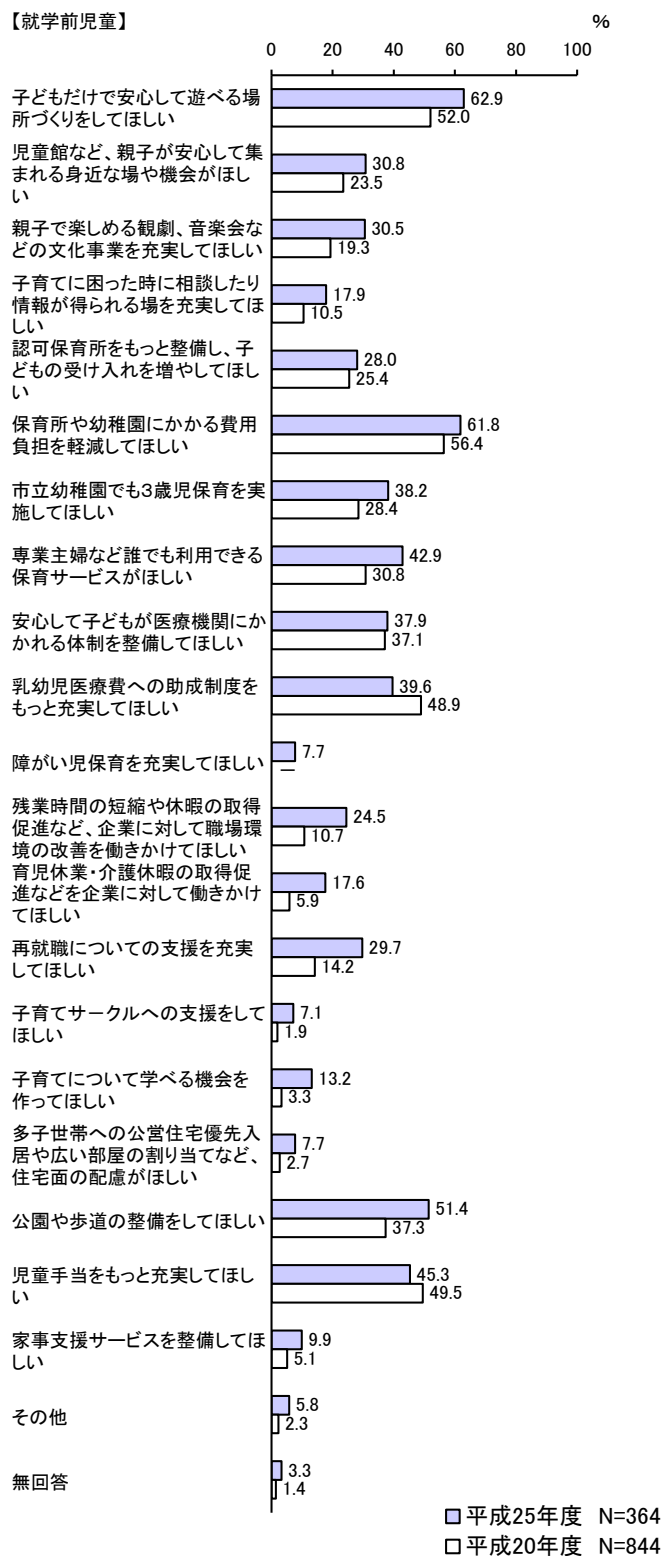


## (7) 川西市の保育・教育環境について

問 38 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童では、「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」の割合が62.9%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」の割合が61.8%、「公園や歩道の整備をしてほしい」の割合が51.4%となっています。平成20年度と比べ、特に「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」「親子で楽しめる観劇、音楽会などの文化事業を充実してほしい」「専業主婦など誰でも利用できる保育サービスがほしい」「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」「育児休業・介護休暇の取得促進などを企業に対して働きかけてほしい」「再就職についての支援を充実してほしい」「公園や歩道の整備をしてほしい」が高くなっています。

【就学前児童】



小学生児童では、「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」の割合が62.0%と最も高く、次いで「公園や歩道の整備をしてほしい」の割合が51.5%、「児童手当をもっと充実してほしい」の割合が51.0%となっています。平成20年度と比べ、特に「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」「市立幼稚園でも3歳児保育を実施してほしい」「公園や歩道の整備をしてほしい」が高くなっています。

【小学生児童】

